

第24期第7回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日 時：2024年4月20日（土） 15：00～16：35

場 所：オンライン（Zoom）

議 長：伊藤淳史

記 録：鬼頭弥生

出席者：秋津元輝、足立芳宏、伊藤淳史、北野慎一、鬼頭弥生、木原奈穂子、工藤春代、坂梨健太、関根佳恵、高篠仁奈、高田晋史、長命洋佑、西村武司、野中章久、本田恭子、増田忠義、松下秀介、Keshav Lall Maharjan（以上17名、五十音順）

- 1 伊藤庶務担当常任理事が議長に選出された。
- 2 秋津会長より開会の挨拶がなされた。
- 3 前回議事録の確認がなされた。

【議題および報告】

（1）2024年度大会の準備状況について（庶務）

直前に行われた大会実行委員会の内容を承認した。

（2）学会賞の選考について（学会賞副会長）

足立副会長より、学会賞選考の現状について説明がなされた。

（3）会員の異動等について（組織）

長命組織担当理事より、新規入会者と退会者について説明がなされた。また、ニューズレターの電子化について、電子化後、とくに問題なく運用していることが報告された。

（4）会計等について（会計）

木原会計担当理事より、会費納入のクレジットカード決済導入に関して説明がなされた。クレジットカード決済のできない会員向けには郵便振替用紙（郵便局備え付けの取扱票）の併用ができること、振込みの案内はメール送付によるため確実に届くメールアドレスの登録が必須であること、1～2年は振替用紙送付と併用する必要がある旨の説明がなされた。また、決済手数料は会員の負担とする（手数料を上乗せした額を会員に請求する）ことが説明された。審議の結果、会費納入についてクレジットカード決済を導入することとなった。大会参加費支払へのクレジットカード決済導入については、上記導入の状況をみて別途議論することとなった。

（5）学会誌編集状況について（編集）

野中編集担当理事より、学会誌編集状況について説明がなされた。

（6）国際ワークショップについて（国際化）

関根国際化担当理事より、2024年6月29日開催予定の国際ワークショップの内容と報告申込受付状況について報告がなされた。それに関連して、かつての海外メール会員制度と同様に、過去の会員（海外出身）・国際WSおよびシンポ参加者246名に対して、BCCの形で学会の情報（国際WSの案内から）をメール配信したい旨の説明がなされた。また、HPのバイリンガル化作業を引き続き進めていく旨の説明がなされた。国際WS開催経費の金額と会計処理について審議がなされ、今年度予算案の金額にて（支部大会と同様に）助成金として渡し切りとし、残額が生じた場合には返還することとなった。

(7) 名簿作成について (庶務)

伊藤庶務担当理事より、3年に1度実施している学会の会員名簿作成について、学会誌・ニューズレターを電子化した現状において、名簿を紙媒体で発行する必要性は低いことが説明された。会員の利便性向上および費用節減の優位性があることから、紙媒体での発行ではなく e-naf の会員相互検索機能の搭載としたい旨の提案がなされ、承認された。これに伴い、名簿廃止と上記機能導入について会員に告知すること、学会HPに賛助会員リストを掲載することが確認された。

(8) 名誉会員の候補者について (庶務)

高田庶務担当理事より、2024年度名誉会員の推薦候補者について説明がなされ、候補者2名を理事会に提案することが承認された。

(9) 2025年度学会大会の開催地について (会長)

秋津会長より、2025年度学会大会の開催地については、今後、検討・調整していく旨が説明された。

(10) その他

伊藤庶務担当理事より、生物科学学会連合による科研費事業増額の要望書・署名活動への賛同の可否および会員への周知の可否について、日本農学会から問合せおよび意見聴取があった旨の説明がなされた。審議の結果、いずれも賛同・可と回答することとなった。また、地域農林経済学会からの意見として、要望書を人文社会科学の領域も視野に入れた内容にすることを希望すること、(参考意見として) 研究力低下への対応・研究基盤強化としては運営費交付金減少の問題も考えていく必要があるのではないかと、署名提出先として農林水産大臣も追加することを希望する旨を回答することとなった。

最後に、マハラジャン副会長より挨拶があり閉会した。

以上